

奈良県議会議員（葛城市選挙区）

会派：自由民主党・無所属の会

西川 ひとし



3期目を迎え
初心に戻り県政課
題に取り組んでま
います。

奈良県新年度予算5329億円

山下 真 新知事誕生も過去の 取組みの結実を願う

このたび、皆様のご支援によりまして当選することができましたこと、心より感謝申し上げます。3期目を迎えるにあたり、私が目指してきた県政の方向性や課題に向き合い、さらに今回の選挙活動を通じて、皆様から寄せられた声を大切に、県議会議員としての使命を忘れず、地域の発展と皆様の暮らしの向上に向けて、一層努力してまいります。また、県民の皆様の意見や要望を積極的に取り入れ、開かれた県政を目指します。

◆ 今回の選挙は今後の奈良の方向性を占う意味で、とても大切な出来事となりました。これまでの県政とはまったく異なる見解を有する知事が誕生したからです。今回の県議選で維新が大きく躍進したことを受け、民間出身で新たな風を起すことが期待される山下知事は、民意を重視し、県課題に取り組んでいく姿勢を強調しています。一方、私の政治信条でもある奈良県の北高南低問題について、山下知事は「地域間格差に対する問題にも理解はある」とし、取り組む姿勢を見せておられますので、私も期待したいと思っております。

さて、今回の県政報告では奈良県の新年度予算をご紹介します。新知事が誕生しても過去の取組みが結実するよう強く願っています。

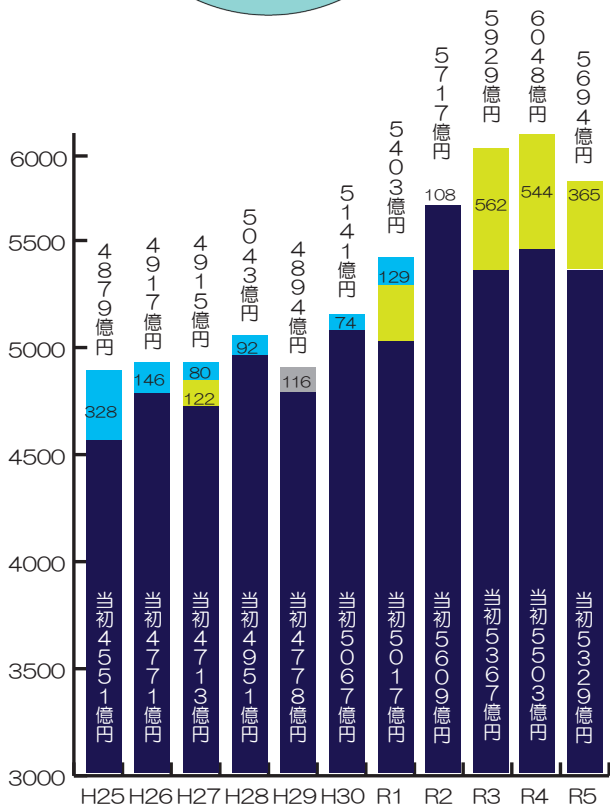
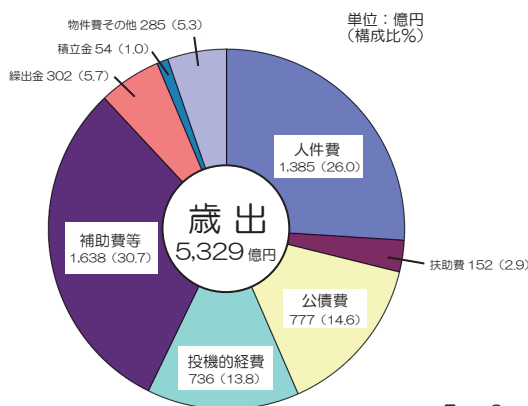
奈良県では、過去16年間にわたり知事が

「地域の自立」を図り、「くらしやすい奈良」を創ることを県政の目指す姿として掲げてきました。工場誘致や観光振興などに力点を置いた結果、工場立地件数が近畿2位に、有効求人倍率が近畿トップクラスになるなど、実感できる取り組みが行われています。さらに、幹線道路の整備や医療の充実が進み、コンベンションセンターをはじめとする特色ある施設が次々にオープンしています。健康寿命や障害者雇用率、女性の就業率の伸び率や合計特殊出生率の伸び率も全国有数になっており、奈良県は様々な分野で躍進しています。

今後、奈良県ではリニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置に向けた環境影響評価が始まり、大規模広域防災拠点も整備が進む予定です。また、「デジタル田園都市」の実現構想や、奈良県立医科大学の整備、中央卸売市場の再整備、県域水道一体化など、本県発展の礎となる歴史的なプロジェクトが軌道に乗りつつあります。

■成果と展望に注目

このようなプロジェクトの実現に向け、「奈良新『都』づくり戦略2023」が策定され、戦略の実現に向けた取り組みを体系的かつ継続的に推進するため、多くの条例の制定が進められています。令和5年度予算では、これらの戦略や条例を土台に、大きな波を的確に捉え、確かなエビデンスに基づいて戦略を練り上げ、全力で実行していく方針が示されています。奈良県のこれまでの成果と今後の展望に注目が集まる中、どのような変化がもたらされるのか、引き続き見守りたいところです。



一般会計予算規模の推移
■ 2月補正

県政HOT ニュース

災害時の栄養・食生活支援 活動に関する協定を締結

奈良県と奈良県栄養士会

県は、大規模災害時における被災者の栄養・食生活支援活動に関して、公益社団法人奈良県栄養士会と協定を締結することを発表しました。この協定の目的は、県内で大規模災害が発生した場合、被災者の健康を守るために、避難所などで栄養・食事相談を行い、必要なアセスメントに基づいてアレルギー除去食品や離乳食、高齢者・病者用食品などの特殊栄養食品を提供できる体制を確保することです。協定では、大規模災害が発生した際に、栄養士会は県からの派遣要請に基づいて栄養支援チームを編成し、県が指定する被災地域で活動を実施します。この連携により、大規模災害時において被災者の栄養・食生活支援が迅速かつ適切に行われることが期待されます。

訪日教育旅行の学校 交流が3年ぶり再開

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により約3年中断していた訪日教育旅行の学校交流が、再開されました。奈良県内では台湾の高校生が県内の高校を訪問し交流するイベントが開催されました。このようなリアルな交流が国際理解や国際協力推進の一助となることが期待されています。

国際協訪日教育旅行とは、海外の児童生徒が、教職員の引率のもと学校教育の一環として行われる訪日（インバウンド）団体旅行のことを指します。今回、交流が行われたのは奈良県立奈良商工高等学校で、台湾新北市立

鶯歌高級工業商業職業学校の生徒20人、教師2人が参加しました。

法隆寺世界遺産登録30周年を 祝い「記念日本酒」が誕生

斑鳩町観光協会と奈良県産業振興総合センターが共同で、法隆寺の協力のもと、法隆寺境内に自生するアヤマメから清酒酵母を分離し、新たな日本酒が誕生しました。この酵母は協会が「太子夢酵母」と命名し、法隆寺の世界遺産登録30周年を記念して作られた日本酒に使用されています。

「聖徳太子ゆかりの地・斑鳩町」および「世界遺産のあるまち・斑鳩町」を国内外に広くPRするための日本酒をつくる清酒酵母の分離を検討した結果、法隆寺境内のアヤマメから「太子夢酵母」が分離されました。そして、法隆寺が世界遺産に登録されてから30周年を迎える記念すべき今年、「太子夢酵母」を使った記念日本酒が完成しました。

この記念日本酒は『太子の黒駒』（製造：芳村酒造株式会社）、『古都のしらべ』（製造：株式会社大倉本家）、2種類が用意されています。令和5年4月11日から販売が開始されています。法隆寺の世界遺産登録30周年を祝し、



新たな日本酒が誕生したことで、斑鳩町の観光や地域の活性化にも期待が寄せられています。

ひとしのひとりごと

〇…マンネリズムとは、日常生活や仕事、人間関係などで同じようなパターンが繰り返されることで、新鮮味が失われ、退屈さや飽きが生じる現象です。人々は、このマンネリズムに陥ることで、自分たちの人生に変化を求めるようになります。さて、このマンネリズムは選挙においても現れることがあります。その結果はどのようなものなのでしょうか。

〇…選挙というものは、民主主義社会において重要な役割を果たします。市民は、選挙を通じて自分たちの意志を表明し、政治家たちに期待する方向性を示すことができます。しかし、選挙が繰り返される度に、政治家たちの言動がマンネリ化し、有権者は新たな風を求めるようになります。

選挙との邂逅 新たな風を求める有権者の願い

〇…選挙戦では、候補者たちが様々な政策やビジョンを掲げ、有権者にアピールしますが、往々にして既存の政治家たちの言動は似通ったものになりがちです。そんな中、新進気鋭の政治家が現れ、従来のマンネリズムを打ち破るような斬新なアイデアや政策を掲げることで、選挙戦に熱気が戻ります。

〇…そして、選挙の結果、新たな風を求める有権者の願いが叶えられることがあります。新しい政治家が選出され、彼らの政策が実現されることで、マンネリ化した社会に活気が戻ります。

〇…まさに、マンネリズムは選挙においても風穴を開けるきっかけとなり得るのです。しかしこのオチは、果たして有権者が新たな風を選んだ結果、本当に良い方向へ進むことができるのかどうかは、選んだ候補者の実績と次の選挙までの時間が証明することでしょう。



県政に関する疑問や質問は、西川ひとしにお寄せください。

〒639-2141 葛城市弁之庄58-2
TEL:0745-69-1234 FAX:0745-69-7891